

キャップ付ドレーンを利用した真空圧密工法の現場への適用

椎名 貴彦¹⁾, 米谷 宏史¹⁾, 新舎 博¹⁾

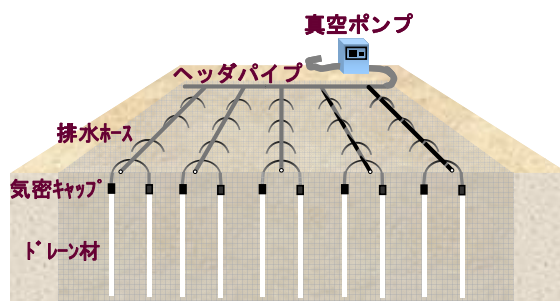
Application of the Vacuum Consolidation Method Using Capped Vertical Drains to Field Site

Takahiko Shiina¹⁾, Hiroshi Yoneya¹⁾ and Hiroshi Shinsha¹⁾

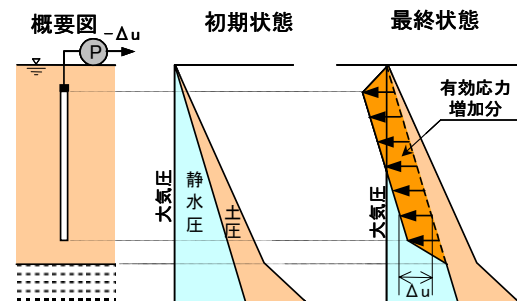
■ 要 旨 ■

キャップ付鉛直ドレーンを用いた真空圧密工法は、上部の粘性土をシール層として利用し、下部粘性土地盤を改良する工法である。従来の真空圧密工法は地盤表面を密封シートで覆う必要があるが、水中や表層に厚い砂層がある場合など適用が困難な場所も多い。本工法では粘性土層の気密性を利用することにより、密封シートを不要にすることで、前述のような場所への適用が比較的容易になるという特徴を有している。

本報では、工法の紹介を始めとして、実工事における施工事例などについて紹介する。なお、本報は、韓国土木学会誌に掲載された論文を転載するものである。



工法概要図



作用圧力の模式図



自走式打設機



フロート式打設機



配管状況